

令和３年度宮城県公立学校教員採用候補者選考の結果について

1 実施概況

(1) 第１次選考

- 実施日 令和２年７月１８日（土）
- 会場 筆記試験は高校３校，UDX AKIHABARA SPACE

(2) 第２次選考

- 実施日 令和２年９月３日（木）～５日（土），１０日（木）～１３日（日）
実技試験は９月１２日（土）
- 会場 総合教育センター，名取北高等学校（１２日のみ）

(単位：人)

	出願者数	受験者数 (受験率)	１次合格者数	２次受験者数 (受験率)
R3年度	1,904	1,645 (86.4%)	1,148	1,120 (97.6%)
H32年度	1,894	1,774 (93.7%)	937	918 (98.0%)
対前年比	+10	-129 (-7.3pt)	+211	+202 (-0.4pt)

2 今年度選考試験の特徴

- 新型コロナウイルス感染症対策として，第１次選考における，各会場定員５０％以下での受験者の座席配置，適性検査のWeb実施による受験者の会場滞在時間短縮及び会場受験者数の縮小，第２次選考時における，集団討議の回数縮減による滞在時間の短縮，集団討議・面接時の飛沫防止パネルの設置，各実技試験における時間短縮等の諸対策，また選考全体を通して全受験者の入場時の検温，消毒用アルコールの設置，変更情報等のWeb配信，体調不良者対応の別室の確保等を行い，全受験者が安心して受験できる環境づくりを行った。
- 例年どおり，第１次選考で基礎的な能力実証をした上で，第２次選考において，宮城県が求める人材に照らして，人物重視の選考を行った。
- 以下のような特別枠の設定，加点措置を行った。
 - ・ 小学校での地域枠（気仙沼，東部），英語枠，特別支援学校枠
 - ・ 中学校，中学校・高等学校，高等学校の特別支援学校枠の選考
 - ・ 小学校での英語の資格・スコア・免許取得者への加点
 - ・ 中学校・高等学校「英語」での資格・スコア取得者への加点
 - ・ 高等学校「公民」もしくは「地理歴史」での「公民」「地理歴史」両免許の取得者等への加点（今回導入）
- 他県現職者特別選考，宮城県元職特別選考，前年度総合ランク「C」の出願者には，第１次選考の筆記を免除した。（今回導入）
- 名簿登載者数は５５８名（昨年度５１２名）。名簿登載者数に占める各特別選考の割合は，教職経験者特別選考２５.４％（昨年度２７.７％），障害者特別選考０.２％，他県等現職者特別選考が３.４％，宮城県元職特別選考が０.４％，前年度総合ランク「C」が１３.６％である。また名簿登載者の男女比は男４８.９％，女５１.１％（昨年度より女性の割合が１.７ポイント増加）。
- 大学院進学・在籍者の名簿登載猶予予定者は１７名（昨年度１３名）である。

3 今後の取組

- 宮城県の教職員を目指す方の一助となる情報をホームページで発信（広報活動）
教員採用に関する動画等を掲載したサイトを作成しHPより定期的に配信。
- 令和３年４月の新規採用予定者に対し，情報交換会を開催予定。
期日・会場 令和２年１２月２６日（土）１３時から 総合教育センター
内 容 全体会（講話），分科会（校種別情報交換会）他

令和3年度宮城県公立学校教員採用候補者選考 第2次選考結果

校種・職種	教科等	令和3年度			平成32年度		
		1次受験者	2次受験者	名簿登載者	1次受験者	2次受験者	名簿登載者
小学校	地域枠（気仙沼）	19	19	4	13	10	3
	地域枠（東部）	30	30	5	34	19	5
	特別支援学校枠	48	46	10	65	53	11
	英語枠	15	15	9	18	16	10
	一般枠	342	333	241	340	262	201
	小計	454	443	269	470	360	230
中学校	国語	40	36	24	44	40	29
	社会	125	55	23	116	38	23
	数学	66	56	24	87	36	22
	理科	36	32	23	44	23	14
	技術	1	1	1	5	5	4
	英語	70	47	25	77	31	17
	小計	338	227	120	373	173	109
中・高	保体	242	78	36	246	72	40
	音楽	31	23	12	35	18	10
	美術	19	19	9	29	21	10
	家庭	12	12	9	19	16	10
	小計	304	132	66	329	127	70
高校	国語	40	37	19	44	24	14
	公民	36	14	3	32	12	6
	地歴	66	45	9	60	41	13
	数学	70	31	14	85	20	5
	理科	76	49	19	86	34	10
	農業	8	8	1	10	10	2
	水産	0			2	2	2
	工業	30	20	8	29	18	4
	商業	16	15	3	25	20	8
	情報	16	8	1	16	7	1
	英語	37	33	13	55	27	13
	看護	2	2	1	2	2	1
	理療	募集せず			募集せず		
	福祉	7	6	1	7	5	1
小計	404	268	92	453	222	80	
養護教諭		127	39	7	123	29	20
栄養教諭	栄養教諭A	1	1	1	0		
	栄養教諭B	17	10	3	26	7	3
	小計	18	11	4	26	7	3
合計		1,645	1,120	558	1,774	918	512

高等学校入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症への対応

高校教育課

1 新型コロナウイルス感染症に係る基本対応（第一次募集）

	受験生の状況	中学校長からの 追試験申請の有無 (症状の判断)	高校入試への受験対応	
			本試験当日	受験機会の確保
I	感染症罹患患者	追試験申請あり (医師又は保健所による 入院又は待機指示)	受験できない	①追試験の日程で受験 ②第二次募集の日程で受験 ③書類審査で対応
II	濃厚接触者			
III	発熱等の症状 がある者	追試験申請あり (医師による診断)	受験できない	①追試験の日程で受験
		追試験申請なし	中学校長・ 保護者の確認 の上、受験 できる	別室での受験

(1) 第一次募集に出願した受験生が感染又は濃厚接触者に特定された場合

	受験生の状況	出願校での受験対応		
		受験日	受験する 試験内容	合格 発表日
イ	本試験前日（3月3日（水））時点で陰性が確認されており、退院又は待機解除された者	3月4日 （木）	本試験	3月16日 （木）
ロ	本試験が受験できなかった者で、追試験前日（3月9日（火））時点では陰性が確認されており、退院又は待機解除された者	3月10日 （水）	追試験	
ハ	本試験及び追試験が受験できなかった者で、第二次募集前日（3月21日（日））までに陰性が確認され、退院又は待機解除された者	3月22日 （月）	国語・数学・英語 3教科の学力検査 （第二次募集の学力検査問題）及び 面接・実技・作文 （出願校が第一次募集で課したもの）	3月22日 （月） もしくは 3月23日 （火）
ニ	本試験、追試験及び第二次募集が受験できなかった者		調査書等による 書類審査	

(2) 受験生の周囲（同一中学校に在籍している生徒・教職員等）で感染者が確認されたが、受験生は濃厚接触者ではない場合の対応

受験生の状況		出願校での受験対応	
		受験日	受験する試験内容
イ	発熱等の症状がある場合	追試験申請がない場合 3月4日（木）	本試験 （別室で受験）
		追試験申請がある場合 3月10日（水）	追試験
ロ	発熱等の症状がない場合	3月4日（木）	本試験 ※ （通常の教室で受験）

※ 本試験の受験に際し、感染者が確認された中学校長から、「新型コロナウイルス感染症に対する精神的不安」を理由に配慮申請があった場合は、当該中学校長と協議の上、該当する受験生の別室受験を認めることとする。

2 受験会場となる高等学校における対応

(1) 事前準備について

生徒・教職員に感染者が出る等の不測の事態が生じた場合、試験会場を消毒する等の対応が必要となる。3月4日（木）の本試験を円滑に実施するために、3月2日（火）に会場準備を行い、3日（水）は臨時休業として生徒を登校させず、不測の事態に対応できるようにすることとする。

(2) 各検査前に生徒・教職員の感染及び濃厚接触者が確認された場合

- 当該高等学校内の消毒等を徹底し、予定どおり入学者選抜を実施する。
- 校長が感染した場合は、教頭がその職務を代行し、また、校長及び教頭が感染した場合は、教育委員会から職員を派遣し、その職務を代行することで、円滑に入学者選抜が実施できるよう措置する。
- 教職員の感染者が複数に及んだ場合は、教育委員会から職員を派遣し、その業務を代行することで、円滑に入学者選抜が実施できるよう措置する。

3 円滑な高等学校入学者選抜の実施に向けた対応

- 生徒及び教職員は、マスクの着用やうがい、手洗いの励行等、新型コロナウイルス感染症予防を徹底すること。
- 生徒・教職員に感染が確認された場合は、速やかに県教育委員会（高校教育課）に報告し、対応を協議することとする。
- 発熱、咳等がある教職員は勤務を控え、速やかに医療機関を受診させる等、新型コロナウイルス感染症予防に万全を期すこととする。

令和2年度

＜動画配信＞

未来へつなぐ学校と地域の 安全フォーラム

学校と地域が連携した安全教育の3領域（災害安全・交通安全・生活安全）について、地域、行政、大学、そして未来を担う若者が様々な視点からディスカッションします。
未来へつなぐ安全教育について一緒に考えてみませんか。

《動画配信URL》 <http://drredu-collabo.sakura.ne.jp/ja/event/2020/20201001post-1167>

QRコードからも御覧いただけます→



主催者挨拶

〈0:00:00～0:05:53〉

宮城県教育委員会

東北大学災害科学国際研究所防災教育国際協働センター

教育長 伊東 昭代

センター長・教授 佐藤 健

パネルディスカッション

テーマ 「学校と地域が連携した安全・安心な地域づくりをめざして」
～自然災害等への連携した対応、新型コロナ対応も踏まえて～

内容 防災等における地域との関わりや現状の課題について 〈0:05:53～0:30:35〉
地域連携に関する体制整備について 〈0:30:35～0:59:36〉
安全・安心な地域づくりに求められる若者の力について 〈0:59:36～1:22:48〉
パネリストからのメッセージ 〈1:22:48～1:40:41〉

※ 〈 〉 は映像の時間の目安です。

■ファシリテーター■

宮城教育大学 学長特別補佐 特任教授

野澤 令照 氏

■パネリスト■

東北工業大学総合教育センター 教授

小川 和久 氏

村田町教育委員会生涯学習課 副参事兼総括主査

三浦 純 氏

岩沼小学校区ふれあいパトロール隊 隊員

佐藤 隆信 氏

宮城県志津川高等学校 3年

及川 拓海 氏

宮城県教育庁 教育監兼教育次長

松本 文弘

宮城県松島自然の家 次長

渥美 眞佐男



宮城県志津川高等学校を会場に、
熱いディスカッションを展開！



主催：宮城県教育委員会，東北大学災害科学国際研究所防災教育国際協働センター

主管：未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラム実行委員会

協力：宮城県志津川高等学校

<パネルディスカッション>

「学校と地域が連携した安全・安心な地域づくりをめざして」
～自然災害等への連携した対応、新型コロナ対応も踏まえて～

出演者プロフィール

ファシリテーター



宮城教育大学 学長特別補佐 特任教授 野澤 令照（のざわ よしてる）氏

学校教育と社会教育での現場の経験を活かし、学校と家庭、地域が協働で取り組む教育を推進している。東日本大震災後は、復興を担う教員の育成と、未来を拓く教育に尽力している。

【略歴】

仙台市立寺岡小学校長、仙台市立小学校校長会長を歴任
文部科学省 コミュニティ・スクールマイスター
第36次宮城県社会教育委員の会議兼第11次宮城県生涯学習審議会議長 他

パネリスト

小川 和久 氏 東北工業大学総合教育センター 教授



交通心理学を専門とされ、交通安全教育の第一人者として、全国の学校等の交通安全教育の推進に向けて尽力している。また、宮城県では、防災教育副読本検討委員等も務めるなど安全教育全般に助言をいただいている。

【略歴】文部科学省「中央教育審議会」臨時委員、
平成30年より宮城県教育委員 他

三浦 純 氏 村田町教育委員会生涯学習課 副参事兼総括主査



村田町では「防災キャンプ」・「発見合宿」等の宿泊事業を展開し、子供たちの学びと交流の場づくりに励む。避難所のできるレクリエーション講座等、楽しみながら学ぶ防災プログラムを提供している。

【略歴】村田町立村田第一中学校PTA会長 他

佐藤 隆信 氏 岩沼小学校区ふれあいパトロール隊 隊員



岩沼市で地域の子供たちの登下校の見守り活動を始めて7年。現在も毎日、温かく子供たちの見守りを行い、安全・安心な登下校をはじめ、地域の健全育成の推進に尽力している。

【略歴】

仙台第二高等学校長、大学特任教授・非常勤講師等を歴任、岩沼市安全・安心まちづくり委員 他

及川 拓海 氏 宮城県志津川高等学校 3年



令和元年度みやぎ防災ジュニア・リーダーに認定され、高校では、防災クラブのリーダーを務め、学校のみならず地域の防災意識を高める活動に取り組んでいる。

【略歴】

令和2年3月に、宮城県の防災指導員認定

松本 文弘 宮城県教育庁 教育監兼教育次長



子供たちの安全・安心な生活のため、学校安全の様々な施策を実施。宮城県教育庁スポーツ健康課長時代には、本フォーラムを開催した他、防災教育副読本を発行するなど学校安全を推進している。

【略歴】宮城県泉館山高等学校長、宮城県教育庁スポーツ健康課長を歴任、MAP研究会会長 他

渥美 眞佐男 宮城県松島自然の家 次長



松島自然の家では、青少年や一般県民を対象に、「防災ウォークラリー」、「日用品を使ってのスリッパやマスクづくり」などの、防災等に関する主催事業や出前講座で防災教育プログラムを提供している。

【略歴】東松島市派遣社教主事、登米市立錦織小学校教頭 他

パネルディスカッションを視聴した御意見、御感想はこちらまで↓

<http://drredu-collabo.sakura.ne.jp/ja/event/2020/20201001post-1167> 内の入力ボックスへ